

(研修会のご案内)

## 中小水力発電技術に関する実務研修会

(平成18年度第2回目)

当財団では、中小水力発電開発促進事業の一環として、実務担当者（技術関係）を対象とした中小水力発電技術の研修会を系統的に企画し、実施することといたしております。

この度、本年度第2回目（通算第78回目）の研修会を下記の要領により開催いたしますので、関係各位多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 日 時 平成18年10月26日（木）10:00～16:00  
27日（金）10:00～16:00

2. 場 所 三会堂ビル（石垣記念ホール）  
〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号  
電話 03-3582-7451

(案内図参照)

### 研修会問合先

〒102-8555 東京都千代田区紀尾井町3番6号 秀和紀尾井町パークビル6階  
財団法人 **新エネルギー財団** 水力本部  
電話 03-5275-9824  
FAX 03-5275-9831

担 当： 高 山・梶 山

### 3. 研修内容の概要

開 催 日：平成18年10月26日(木)～27日(金)

時 間 割：次表のとおり

日	時間	テ ー マ	主 な 内 容
26 日	10:00 ～ 11:25	田子倉発電所主要機器一括更新工事の 計画、設計及び施工  電源開発(株) 本店 水力エンジニアリング部 電気技術室 課長代理 千葉 和彦	・既設発電所の主要機器一括更新工事において、既存設備を 再利用するとともに、最小工事規模で設備信頼度及び発電 効率向上を目指した事例として  1. 田子倉発電所の概要及び更新前の経年劣化状況等 2. 田子倉発電所一括更新工事全般の概要 3. 水車・発電機等の設計 4. 水車・発電機取替工事の施工
	11:30 ～ 12:00	水力資源有効活用技術開発調査 について(中間報告)  (財)新エネルギー財団 水力本部 技術部 課長 舘 宏樹	・環境負荷の小さい既存の設備を利用した水力発電の経済性 向上を図るため、河川維持流量、農業用水、砂防ダム等か らの流水を利用した発電を対象とした「小水力資源有効活 用技術開発調査」と、水路式発電所に地下調整池を構築 し、ピーク発電を行う調整能力を付加した発電を対象とし た「地下調整池による水路式発電所増強技術開発調査」の 概要について報告する。
	13:00 ～ 14:25	水車・発電機の設備更新における 技術動向  (株)明電舎 装置事業部 システム装置工場 発電制御装置部 技術課 技師 安 蒜 和 浩	・最近の中小水力発電所の設備更新等における技術動向とそ の事例として  1. 水車及び付属装置関係(オイルシ化、給水レス化等) 2. 発電機関係(コイル更新、絶縁診断、新素材スラスト軸受、 軸受の空冷化、ブラシレス励磁装置) 3. 配開装置関係(全機能一体形制御保護装置)
	14:35 ～ 16:00	水力発電用鋼構造物の健全度評価手法の 現状と課題  北陸電力(株) 本店 土木部 土木運営チーム 課長代理 和 泉 満	・水力発電用鋼構造物に状態監視保全の考え方を織り込んだ 健全度評価手法を検討した事例として  1. 水力発電用鋼構造物の健全度評価手法の概要 2. 水力発電用除塵機の健全度評価手法 3. 健全度評価手法の課題と今後のあり方
	10:00 ～ 10:10 ～ 12:00	新帝釈川発電所新設工事の計画、設計 及び施工  中国電力(株) 本店 事業支援部門(土木) 水力担当 専任課長 吉 岡 一 郎	・老朽ダムの抜本的な改修を含む既設発電所再開工事を地 元観光事業や環境保全に配慮して実施した事例として  1. 新帝釈川発電所新設工事の概要 2. ダム改修の設計及び施工 3. 導水路トンネルの設計及び施工 4. サージタンク、水圧管路、発電所の設計及び施工 5. 環境保全対策
27 日	13:00 ～ 14:25	洪水吐からの放流に起因した 発生音の特性とその予測法  (財)電力中央研究所 地球工学研究所 流体科学領域 主任研究員 西 原 崇	・洪水吐からの放流時に発生する音の観測を行い、放流水諸 条件と発生音特性の関係、周辺環境への影響及び経験的な 予測手法を検討した事例として  1. 水力発電所に関連する水路構造物から発生する音 2. 洪水吐放流音の現地観測の概要と観測結果 3. 放流音の周辺環境に与える影響評価 4. 放流音の予測と低減対策
	14:35 ～ 16:00	中小水力発電水力設備の点検、 劣化診断及び補修における技術動向  東電工業(株) 工務本部 技術管理グループ 課長 鈴木 正志	・的確な水力発電設備の点検・保守業務と安全性向上を目的 として開発した点検システム並びに診断技術の事例として  1. 水力発電設備の点検、劣化診断及び補修技術 (特に鉄管内部、水中部) 2. コンクリート構造物の点検、劣化診断技術 3. コンクリート構造物の補修技術 4. 補修効果に関する当社の研究事例

注：テーマ、内容等に変更があることをご了解下さい。

4. 定 員 160名程度（申込先着順）
5. 参 加 費 1名につき 賛助会員 28,000円  
一 般 32,000円

（注）賛助会員とは、当財団の事業目的に賛同し、賛助会員名簿に登録された法人に所属する方です。

6. 申込方法

1. 末尾の申込用紙にご記入のうえ、(財)新エネルギー財団水力本部あて、封書（実務研修会申込書在中として）又はFAXでお送り下さい。
  2. 参加券は発行いたしません。
  3. 参加費は、原則として当日ご持参下さい。
  4. なお、申込後、都合により不参加となるときには至急ご連絡下さい。
- （注）相当の定員を超えた場合は、受付できないことがあります。  
（この場合は、連絡いたします。）

7. 申込期限 平成18年10月13日

-----切取線-----

中小水力発電技術に関する実務研修会（第2回）申込書						
〒					いずれかに○印	
住 所					賛助会員	一 般
団体名						
TEL.						
参加者氏名	所属部課名	職 種	経 験 年 数	過去参加回数	参加費	
1					を当日持参 します。	
2						
3						
4						
5						
※通信欄（NEFへの連絡事項等があれば、記入願います。）						※受付番号

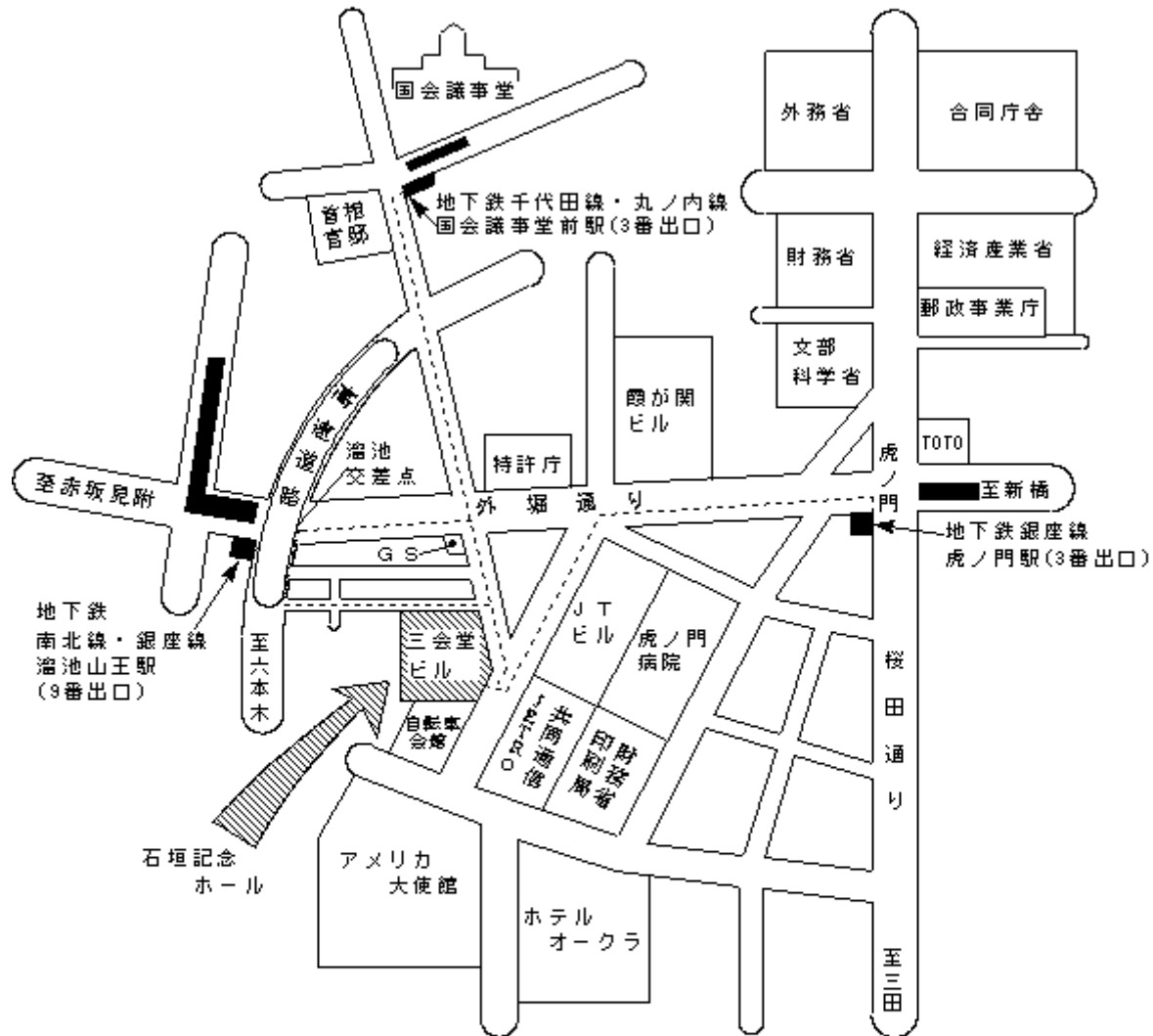
※印以外の記入欄は、漏れ無く記入願います。

- ・職種は、土木・電気・機械等の職種を記入して下さい。
- ・経験年数は、水力発電関係の職務経験年数を記入して下さい。
- ・過去参加回数は、参加者が過去に当研修会に参加した回数を記入して下さい。

# 三会堂ビル(石垣記念ホール)案内図

東京都港区赤坂1丁目9番13号三会堂ビル

03-3582-7451(代)



## ●交通ご案内

- J R 新橋駅下車タクシー7分
- 地下鉄 南北線・銀座線溜池山王駅下車(9番出口)徒歩4分
- 地下鉄 銀座線虎ノ門駅下車(3番出口)徒歩5分
- 地下鉄 千代田線・丸ノ内線国会議事堂前駅下車(3番出口)徒歩7分

羽田空港より

羽田空港  $\xrightarrow[21分]{東京モノレール}$  浜松町  $\xrightarrow[2分]{山手線内回り}$  新橋  $\xrightarrow[2分]{営団銀座線}$  虎ノ門